



# たかといちどいだよ



平成29年3月 第18号  
たかといちどい保育園



先日は、生活発表会に来てくださりありがとうございました。1部のあさひ組、ひかり組は、いつもと違う雰囲気の中、泣いても舞台から降りようとせず、また、固まりながらもその場で頑張っている子どもたちがいじらしく、それぞれの成長を感じました。2部のにじ組、ほし組は、恥ずかしがる様子は見られましたが、保護者の方が見てくれていることに喜びを感じ、嬉しそうに取り組んでいました。歌や合奏もはりきっていましたね。そら組、ゆめ組は、兄弟や保護者の方が来てくださっている喜びで気持ちが高ぶり、照れ隠しの一面もあり、ふざけてしまうことがありました。

発表会最後にお話ししましたが、おじいちゃんおばあちゃんに見ていただいた日は、もっとふざけがひどく、残念な劇遊びになっていました。そこで次の日、子どもたちに「このままふざけていたら、お父さんお母さんに劇遊びを見ていただく事はできないよ。」ということをお話ししました。しばらくするとやりたいという子どもが泣きながら私の所に訴えてきました。やりたいという3名は、真剣な顔に変わっていてとてもいい表情だったので、やらなくてもいいと言っていた4名の説得を3名に任せました。そして、また話し合いが始まり「ももたろうやりたい、やろうよ」と説得することかれこれ30分。一人二人と「やる」と言い出し、やっぱり家の人に見てもらいたいという結論になり、「じゃ、練習一回やろう」ということになりました。気持ちを入れ替えている子どもたちの表情に真剣さが見られ、ふざけた時の半分の時間で終わることが出来ました。その時の子どもは「ももたろう、たのしい！もういっかいしたい」と言っていました。ふざけないで真剣にやった劇は楽しいと感じてくれたようで、一人ひとりを認めました。やる時はやれる子どもたちです。最後の歌と合奏は真剣に取り組んでいましたよね。

いろいろな経験を通して、どんな時でも気持ちの切り替えができる心、その場の環境を理解し対応できる心、自分の気持ちを人に伝えることのできる心が少しでも育つように、今後も関わっていきたいと思います。 越智るみ子

## 楽しかったことBEST3

開園して1年5か月が経ち、最初の年にはなかった行事が今年度はいろいろと増えました。そこで今回は、きりん・ぞうグループの子どもたち31人に、「今年一番楽しかったこと・行事」について聞いてみました。

### 第1位「プール遊び」



つめたくてとっても  
いいきもち！

あめふりだったけど  
たのしかったよ！



### 第2位「親子遠足」

### 第3位「クリスマス会」 「お店屋さんごっこ」

いらっしゃい  
ませ〜♪



やった〜！  
サンタさんだ〜



入園・進級した当初は、お家の方となかなか離れられず泣いていた子どもたちも、この1年で様々な遊びや行事を経験し、ひと回り大きく成長したように思います。あと1か月でゆめぐみさんは卒園し小学生に、他の子どもたちは進級してひとつお兄さん・お姉さんになります。今後も、いろいろなことに興味・関心を持ち、友だちと一緒にたくさんの思い出を作っていくて欲しいと思います。そして、卒園しても「ほいくえん、たのしかったな〜」と思い出してもらえるように、これからも楽しい遊びや行事をいろいろと計画していきます。 岡本 理恵



## あさひぐみ



早いものであさひぐみがスタートして1年が経とうとしています。初めてお母さんと離れて、たくさんの「初めて」を経験した子どもたち。心も体もうんと大きくなりました。

先月はプラステンやロンディ、型はめパズルなど、指先遊びを多く取り入れました。はめたり外したりしては「すごいでしょ」と得意気な笑顔を見せながら楽しんでいきます。今後もじっくりと集中して遊べる環境を整えて、様々な指先遊びが楽しめるようにしていきます。

生活面では、「じぶんで！」と頑張る姿が多くなってきました。自分で靴下やズボンを脱ごうとしたり、スプーンでご飯を食べようとしたりと、「してもらう喜び」から「自分でできた喜び」へと変わってきて、成長を嬉しく思います。これから一人ひとりと丁寧に関わり、自分でできた満足感を感じられるようにしたいと思います。

あさひぐみで生活するのもあと1ヶ月。今月は1歳児保育室で遊ぶ機会をもち、安心して新年度へ移行できるようにしていく予定です。また、関わって遊ぶことを喜ぶようにふれあい遊びをたくさん取り入れたいと考えています。

最後になりましたが、この1年、子どもたちの成長をお家の方と共に喜べたことを嬉しく思っています。ご理解とご協力をいただきありがとうございました。

谷川 美里



## ひかりぐみ



先月は、子どもたちが力を合わせて作った「かぶ」を使って、ごっこあそびを楽しみました。「かぶはどこかな〜？」とお部屋の中を歩いておおきなかぶを見つけると、「あった！みつけた！」「ぬいてみる」「うんとこしょ〜どっこいしょ〜」と引っ張って自分たちで遊びを考え、広げていく子どもたちです。そして、最近では積み木で遊ぶことがブームのひかりぐみ。「おうちつくる！たかいの作る！」と集中して遊んでいます。これほどに大きいものができるなんて〜！！と大人も驚くほど完成度の高いものができており、日に日に上達が見られ、感心の毎日です。

冬になり、重ね着をすることも多く、服が増えましたが分厚い服も自分で一生懸命脱ぐ姿が見られます。また、最近では着脱だけでなく、服を畳むという意識も高まり、自ら「ここはたたんする？」と保育士に聞き畳んでいます。

ひかりぐみで過ごすのも残り1ヶ月となりました。4月当初に比べると随分と自分でできることも増え、大きく成長したように思い嬉しいかぎりです。今月は、新しいお部屋へと遊びに行く機会をたくさん作り、子どもたちが進級に期待を持ち楽しく過ごせるようにしたいと思います。また、一人ひとりと丁寧に関わり、自分でやりたい気持ちを大切にすることで、身の回りのことに意欲的に取り組めるようにします。1年間ご理解とご協力をいただきありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

長田 麻里



## 3月の予定



|        |              |                     |               |
|--------|--------------|---------------------|---------------|
| ひなまつり会 | 3日(金)        | 人形劇鑑賞               | 8日(水)         |
| 体育あそび  | 9日(木)・16日(木) | お別れ遠足(3~5歳児)        | 10日(金)        |
| 卒園式    | 24日(金)       | 発育測定                | 27日(月)~29日(水) |
| お別れ会   | 27日(月)       | ※避難訓練は日時未定の設定で行います。 |               |

※新年度の準備をしますので31日にロッカーの着替え等をすべてお持ち帰りください。





## きりんグループ



2月は、生活発表会に向けて各クラスで歌や表現遊びにたくさん取り組んできました。その中で困っている友だちに台詞をこっそり教えたり、歌に合わせて自分たちで振り付けたりと、子どもたちの新しい一面を発見する場面が多くありました。表現遊びに積極的に取り組む姿が見られたので、今後も色々な絵本を読んで、その中から表現遊びへと繋げていきたいと考えています。

入園当初は好き嫌いもあり、給食を残す子どももいたきりんグループさんですが、今では苦手なものでも必ず一口は食べたりおかわりもしたりと、すっかりもりもりと食べるようになりました。給食時には、「せんせい、おやさいたべるから、みといてな!」「おさらピカピカにしたで!」と、嬉しい声がたくさん聞こえてきます。これからもその姿を十分に認めて、食べることへの喜びや満足感を味わえるように関わっていきます。

異年齢で過ごす中で、お兄さんたちのすることを見て真似をしたり、年下の友だちの手伝いを進んで行ったりする場面が、4月より一層多く見られます。今月も、落ち着いた環境の中ゆっくりと丁寧に関わり、就学・進級に向けての意識を少しずつ高めていきます。更に、異年齢ならではの関わりを深めることで、子どもの優しい心を育てていきたいと思えます。1年間、ご理解とご協力を頂き、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

中丁 紗穂



## ぞうグループ



異年齢の友だちと共に過ごす中で、様々な年齢の子どもたちと一緒に、カードゲームやカルタをして楽しんでいます。また、「どうしたの?」と声をかけたり、「一緒にしよう!」など遊びに誘ったりする姿がたくさん見られます。友だちと一緒に何かをする楽しさや相手のことを思いやる気持ちが芽生えてきたように思います。これからも、一人ひとりの成長していく姿を見守ったり、認めたりして子ども同士の関わりを大切にしていきたいと思えます。

生活面では、2歳児は、手洗い・うがいをしっかりとするようになりました。また、箸を使ってごはんを食べようと頑張っている姿が見られ、今まで出来なかったことや新しいことも、少しずつ出来るようになってきています。3、4歳児は、保育士が声を掛けなくても、1日の生活の中で見通しを持ち、自分たちで考えて行動しています。日々の積み重ねが子どもたちのやる気や意欲につながり、今では自信へと変わってきました。

いよいよ今年度も残すところあと1ヶ月になりました。進級に期待を膨らませている子どもたちです。一人ひとりの気持ちを受け止めながら、他のクラスとの交流を増やし「ひとつ大きくなる」という喜びを子どもたちが感じられるように保育をしていきたいと考えています。この1年間、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

佐伯 紗羅